

平成28年10月26日

保護者の皆様へ

大阪産業大学附属高等学校

校長 今田 悟

2015年度 アンケート結果のご報告

秋冷の候、保護者の皆様にはますますご清祥のことと存じます。平素は本校教育活動に深いご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。

さて、学校教育法の改正に伴い学校評価が義務づけられるようになりました。本校では生徒に「授業を受ける態度と学習についての自己評価アンケート」「学校生活についてのアンケート」とともに、授業科目ごとの「授業アンケート」を実施しています。なお、アンケートは、3学期に実施しており、高校3年生は卒業式を迎える直前で登校していないので、1年生・2年生を対象にしています。

2015年度のアンケート結果を踏まえて、その分析と今後の課題を明らかにします。

1. 「授業アンケート」の結果

「授業アンケート」の結果は別表の通りです。アンケートの結果は教員が自らの授業運営の指針として役立ててもらうために、担当クラスごとに結果を渡しています。

「授業は分かりやすいですか」の質問に、60%以上の生徒が「分かりやすい」、25%以上の生徒が「どちらかというと、分かりやすい」と回答しています。「授業はプリント教材や色チョークでの板書など工夫されていますか」の質問への回答は約65%の生徒が「工夫されている」、約25%の生徒が「どちらかというと、工夫されている」としており、ここから教員の授業に対する周到な準備が、生徒たちの授業理解につながっているのがうかがえます。

また、「授業は、生徒が先生の問いに答えたり発表したりするなど参加しやすいものですか」の質問に対しては、「参加しやすい」「どちらかというと、参加しやすい」と回答した生徒が90%以上、「授業は、先生と生徒の心が触れ合うものとなっていますか」の質問に対しては、「心が触れ合うものとなっている」「どちらかというと、心の触れ合うものとなっている」と回答した生徒が約90%となっており、生徒たちが積極的に授業に参加できる雰囲気作りに教員が努めているのがうかがえます。

「授業を受けて、この教科・科目について興味が深まったと思いますか」の質問に対しては、約85%の生徒が「興味が深まったと思う」「どちらかというと、興味が深まったと思う」と回答をしています。一方、「授業を受けて、学力がついたと思いますか」の質問には、「学力がついたと思う」「どちらかというと、学力がついたと思う」と87%の生徒が回答しています。生徒の興味・関心を引き出す教員の授業が、生徒の学習意欲を喚起し、知識習得に結びついたようです。

「先生は、授業のルールを守るように注意していますか」の質問には、「注意している」「だいたい注意している」の回答が約95%となっています。上記質問にあったように教員は「授業に参加しやすい」雰囲気作りはしながらも、授業を受けるにあたって生徒に秩序、規律を守ることを求めているのがうかがえます。

2. 「授業を受ける態度と学習についての自己評価アンケート」の結果

「チャイムが鳴ったら席に着く」「教科書、ノート、教材を机の上に出している」など授業に臨む姿勢についての質問に対しては、約90%以上の生徒が「守っている」「だいたい守っている」と回答しており、授業を受けるにあたってのマナーを守ろうと意識していることがうかがえます。

「制服をきちんと着用し、姿勢を正して授業を受けている」の質問に90%以上の生徒が「守っている」「だいたい守っている」と回答し、「授業中にノートをとる」という質問には、95%の生徒が「守っている」「だいたい守っている」と回答しており、授業を真摯に受けようとする姿勢が、さきほどの質問の回答にあった授業に臨む準備の良さに表れているといえます。

家庭学習については、「宿題や課題があればきちんと取り組んでいる」の質問に対して、約90%の生徒が「きちんと取り組んでいる」「だいたい取り組んでいる」と回答しています。一方、「1日に家庭学習をどの位していますか」の質問への回答では、まだまだ本校が生徒に求める家庭学習時間には物足りない数字となっています。家庭での学習習慣を身につけさせるためにも、生徒にとって適正な宿題や課題の量を与えていくことが必要といえます。

3. 「学校生活についてのアンケート」の結果

目を引くのが「この学校の生徒は、挨拶をきちんとしている」の質問に対する回答です。「よくあてはまる」が62%にもものぼり、「ややあてはまる」の34%を含めると、96%もの生徒が「本校生徒は挨拶をきちんとしている」と回答しています。学校を訪れた方からもよく「生徒がきちんと挨拶をしてくれる」とお褒めの言葉をいただきます。本校では生徒のそうした姿を「挨拶する声が響きあう学校」と表現しており、今後も本校の大きな特長である「明るく活気のある学校」づくりをめざしていきたいと考えています。また「学校生活に積極的に参加している」の質問にも約90%の生徒が「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答しています。本校生徒の元気な挨拶は、学校生活を前向きに取り組むことによって、気力が充実している表れといえそうです。

ただ、「この学校の生徒は、遅刻しないように努力している」「校則を守っている」の質問に対しては、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の回答が75%と他の質問に対する回答に比べるとやや低い数字にとどまっており、先の質問にあった「学校生活に積極的に参加している」という前向きな意識を、「遅刻をしない」「校則を守る」という自律的な行動につなげてもらいたいと考えています。

「この学校は、いじめを許さないようにしっかり取り組んでいる」「生徒指導にしっかり取り組んでいる」という質問に対し、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の回答が前者は84%、後者は83%となっています。これは「この学校の生徒指導は、適切であると思う」の質問に対し、「適切であると思う」「だいたい適切であると思う」の84%という数字に対応しています。残りの16%の内訳が「もっと厳しく指導してほしい」が3%で、「もっと丁寧に指導してほしい」が13%であるのをみて分かるとおり、なぜ自分が指導を受けなければならないのかということをよく理解させたいと、指導する必要があるといえます。

進路指導については、「この学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる」の質問に対し、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の回答が特進コースの生徒については約90%、進学コース・スポーツコースの生徒は約80%と高い数字となっています。これは進路指導部が行っている1年生を対象とした「様々な職業についての説明会」や2年生を対象とした「大学の学部、学科の説明会」などの取り組み、

姉妹校の大阪産業大学と連携して実施している生徒と本校卒業生との交流会、キャンパス訪問や大阪産業大学教授による出張講義などの取り組みが生徒たちの回答に反映していると思えます。

以上、3つのアンケートの分析結果を報告させていただきました。上で報告した通り、アンケートの質問に対して生徒がほとんど肯定的に回答してくれており、少しは安堵しています。アンケートの結果を裏付けるように、学校側も生徒たちが、学校生活を明るく前向きに取り組んでくれているのを実感しています。今回のアンケート結果に甘んじることなく、生徒たちが学校生活を通じて、人間的に成長できたと実感できる学校づくりをめざしていきたいと考えています。